

2019年4月9日

各 位

J X 金属株式会社

ロス・ペランブレス鉱山の設備増強計画に係る融資契約の締結について

J X 金属株式会社（社長：大井滋、以下「当社」）が間接的に 15.79%を出資するチリ共和国ロス・ペランブレス鉱山の運営会社である Minera Los Pelambres は、設備増強計画（当社 2018 年 11 月 15 日付リリース参照、以下「本計画」）の資金として総額 13 億米ドルの融資契約に調印しました。

本融資契約には、国際協力銀行（JBIC）、みずほ銀行、三井住友銀行、カナダ輸出開発公社（EDC）、Scotiabank 及び Bank of China が参加しております。また、本融資契約の一部は将来的に水資源の保全に寄与することから、格付機関 Standard & Poor' s 社より鉱山業界では初となるグリーン・ローン[※]の認定を受けております。

本計画では、硬質鉱石割合の増加に対応するために選鉱場を増強するとともに、あわせて脱塩水プラントの建設を行うこととしています。これにより粗鉱処理量は日量 19 万トンへと増加し、工事完了後 15 年間の生産銅量は年間平均 6 万トン増加する見通しです。本計画に係る建設費用は約 13 億米ドルを見込み、建設工事は 2019 年初頭より開始し、2021 年中旬の完了を予定しております。

同鉱山は、鉱床規模・品位共に世界でも第一級の鉱山であり、その銅精鉱は砒素などの不純物が少なく銅品位が高いため、当社子会社であるパンパシフィック・カッパー株式会社傘下の各製錬所にとって重要な原料調達先です。また、当社は日本側出資者のうち最大の出資比率を有しており、当社社員の派遣や操業・経営への関与を通じて、同鉱山の最大出資者である Antofagasta plc とも密接な関係を構築しております。こうした背景から、2018 年 2 月には同鉱山権益の追加取得も行いました。

当社は、非鉄金属資源の確保および素材の安定供給を通じて、IoT・AI 社会の発展、ひいては持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以 上

<参考：増強設備の概要>

SAGミル1基、ボールミル1基、粗選ライン1ライン、脱塩水プラント、揚水パイプライン

<参考：ロス・ペランブレス鉱山概要>

(1) 所在地	チリ共和国第IV州	
(2) 埋蔵鉱量 (2018年12月末時点)	約61億トン (銅品位 0.50%)	
(3) 銅生産量 (2018年実績)	358千トン/年	
(4) 権益比率	会社名	権益比率
	Antofagasta plc	60.00%
	JX金属株式会社	15.79%
	丸紅株式会社	9.21%
	三菱マテリアル株式会社	10.00%
三菱商事株式会社	5.00%	

[※]グリーン・ローン

2018年3月に、英国のローンマーケット協会とアジア太平洋地域ローンマーケット協会が共同策定した国際的なガイドライン「グリーンローン原則」に適合したローン。調達資金の用途やプロジェクト評価・選定プロセスなどの項目を設ける。